

立山橋

富山市上滝と立山町岩嶽寺をつなぐ立山橋は、常願寺川で流れる水のはたらきを学習するときに、アクセスしやすく、トイレや駐車場の心配をしなくてもよい代表的な観察ポイントの一つです。右岸側、左岸側とも川原へ降りやすく、どちらも使いやすいのですが、東京書籍の「新編 新しい理科」教師用指導書「北陸・信越版」地方版資料では、右岸側が中流の様子が観察できる場所として紹介されています。一方、左岸側は、夏になると下の写真の広い駐車スペースに車を止めた家族連れ等が床止工（四角いコンクリートブロックのようなもの）を利用して川遊びをする場所で、こちらも簡単に川原へ行って観察できます。写真にあるように、注意事項をかいた看板も、川遊びを前提とした注意事項であり、比較的使いやすい場所であることがわかります。ただし、看板にもあるように、いくらほかの箇所と比べて安全性が高いといっても、水かさが急に増すことがありますので、天候が不安定なときの川のように、発電所の放水を知らせるサイレンには注意して、いつでもすみやかに避難できるように心がけて観察しましょう。なお、河床で見られる岩石は安山岩が多く、黒っぽい石が目立ちます。その中にまじっている白っぽい石は、花こう岩と流紋岩が多いようです。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	特になし
流速の実験の安全性	比較的安全にできる
バス駐車スペース	あり
トイレ	富山地鉄大川寺駅にある。



左岸側の広い駐車スペース



川の利用者への注意書き



右岸側から上流方向のながめ



左岸側の枝分かれした河道
(浅いので観察にも使いやすい)



左岸から中州へ容易に移動できる。
(この四角いコンクリートのパーツの集合体を
「床止工」とよびます)



岩石の種類

